

広報うちこ

UCHIKO 9

September 2018

vol.251

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

◎COVER

大地の恵み、朝採りトマトはいかがですか♡

◎特集

大地に夢は描けるか——

ぼくの夢 わたしの夢

笹岡 穂乃花さん 天神小学校6年(西沖)

パティシエになって 地元で洋菓子店を開きたい

私の夢はパティシエです。1年生のとき、母に教えてもらいながらカップケーキを作りました。父が「おいしい」と喜んで食べてくれたことがうれしくて、洋菓子作りが好きになりました。今ではクッキーやパフェ、クレープ、ケーキなどいろいろな洋菓子を作れるようになりました。特に、チョコレートをを使った洋菓子作りに興味があります。細かな作業でいろいろな形に仕上げる、パティシエの技術に憧れています。東京には、チョコレートの菓子作りを専門で教えてくれる学校があるようです。私も、そんな学校で学んでみたいです。

五十崎地域には洋菓子店が少ないので、将来は地元で自分の店を開きたいと思っています。みんなが入りやすい雰囲気で、店内はカフェのような落ち着いた雰囲気にしたいです。店が完成したら、たくさんの人に来てもらいたいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.251

広報うちこ 2018年9月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 大地に夢は描けるか——
- 12 伝統の舞台で魅せた内の子の狂言
- 14 まちのニュース 宜野座村親善訪問交流事業／子供相撲大会／内子座文楽 他
- 16 うちこ往来 子ども文化体験教室／ワンツーツリーフォレスト／虫送り 他
- 18 ふるさとの夏まつり—思い出のアルバム—
- 20 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 24 図書館へ行こう
- 25 ゆうていあ Vol.209
- 26 町からのお知らせ 観月会／奨学生募集／豪雨災害支援の掲示板 他
- 30 暮らしの情報 「栄養学級」夜の部／中岡満義遺作展／ドイツフェスタ2018 他
- 33 社協だより Vol. 1
- 34 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 36 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎小田地域の野村地区に農園でトマトを作っている大塚美紗樹さんです。家族みんなで力を合わせて作るトマトは、甘くてシャキシャキして、おいしいと評判です。

今月の特集は、農業の後継者についてです。農家に生まれ育った子どもたちの思いなどを聞きました。大塚さんは8ページに登場します。ぜひご覧ください。

大地に夢は描けるか

日本の農業にはさまざまな問題があります。深刻なのは農業従事者の高齢化と後継者不足、耕作放棄地の増加などです。平成2年に約850万人いた農業従事者数は、29年には182万人まで減少。65歳以上の人が66・5%を占めています。

地域農業の5年後、10年後の展望が描けない中、若者は農業に未来を見ることができのでしょうか――。

内子町の農業の未来を想像するために、農家に生まれ育った皆さんの思い、ありのままの姿を取材しました。そこには大きな夢、前向きな姿、苦悩、家族や子どもたちへの思いがありました。

あなたは4組の家族の姿を見て、どんな農業の未来を想像しますか？ 内子町の大地に夢を描けると思いますか。





白石 ^{かずとし} 和寿さん
(59) = 川中 1 =

「栗畑を残したい」。その思いが同じなのがうれしい——

いろいろな仕事をしましたが、私には栗作りが一番自分に合っていました。愛媛で一番になりたいという夢も、収穫量で果たして、今はこの道しかないと思っています。

私は父・母・伯父が作ったレールの上を走っているだけですが、この栗畑を残したいという思いは同じです。娘が継ぐと言ったときは反対しましたが、内心は本当にうれしかった。今は妻のいい相方になっているし、人手も増えて助かっています。

心配なことは、将来的に娘だけでは大変ということ——。いい夫を見つけて一緒にするのがベストですが、どうなるか分かり

ません。今回の豪雨災害もそうです。農業は予測がつかないことも多い。自然には勝てません。消毒一つにしても、天候に合わせる経験が必要です。私もまだまだ頑張っていて、「栗も子どもも愛情を持って育てていること」を娘に伝えていきたいです。



実った栗は竹の棒でたたき落として収穫する

「10年くらいは外で勉強してほしかった。違う職業で、社会の大変さも知らなければ」と心配しますが、円さんは「大学進学を勧められたけれど、実家の方がいい先生がいるので」と笑います。家族と働けることに幸せ

大叔父との約束を守る

円さんが家を継ぐと決心したのは、一緒に栗を作っていた大叔父・久夫さんの願いをかなえるためでした。「大好きだった大叔父と交わした約束。急逝して、約束を守らなければいけない」と振り返ります。

災害で苦労した1カ月

立川地区川中から車で約40分。伊予市双海にある7鈴もの

を感じているそうです。

夢は白石ブランドの栗

「苗木づくりを任されていて、接ぎ木の技術を磨いている。まだ半分くらいしか商品にならないので、早く母のように上手になりたい」と円さん。「家族のブランド栗を作るのが夢。これは『白石の栗』と、胸を張れる栗にしたい」と思いを語ります。

「好きなアイドルのコンサートに行くことが息抜き」とあどけなさも残りますが、「消毒・草刈り・収穫・苗の出荷と1年中忙しい上、覚えることがたくさん。経験を積んで、早く一任前の栗農家になりたい」と目を輝かせていました。



4_家族みんなでする選別作業。多いときは1斗の栗を、一つ一つ丁寧に選別する 5_父親とのツーショットは久しぶりと笑う円さん

じいちゃん、久夫おいちゃん 私、やるけん。頑張るけん

白石 ^{まどか} 円さん (22) = 川中 1 =



1_自分が接ぎ木した苗の生長を確認する円さん 2_8月中旬。早生品種の「日向」の収穫が始まった 3_落ちたイガ栗から一つ一つ実を取り出す



CASE 2 親子2代で目指す芸術的なブドウ

見るのは夢ではなく、父の背中 「おいしい」のために今、頑張る

酒井 優覚さん(28) = 大久保 =

「夢」よりも「今」が大切

農家の朝は早い——。大学卒業後にブドウ農家を継いだ酒井優覚さんは6年間、シーズンになると毎朝4時半頃に起床しているそうです。「眠たいけれど、それも仕事なので」と笑います。8月中旬頃から9月中旬にかけて、収穫・選別・袋入れ・箱詰めと朝早くから夜遅くまで、出荷作業が続きます。

「夢よりも今を頑張ることが大事」と言い切る優覚さん。「食べてくれた人の『おいしい』という声を直接聞くのが一番。そのために、ベストの状態で出荷するようにしている。他のブドウ農家さんよりも出荷が遅くなるけれど、自分が納得するものじゃないと市場に出せない」と、『今』のお客さんを大切にしています。「宣伝もネット販売もしていないのに、口コミでおいしさを広げてくれるお客さんに感謝しかない。これからも顔が見える農業を目指したい」と抱負を語ってくれました。

ニーズに応える技術

シャインマスカットや瀬戸ジャイアンツなど、10種類近く

のブドウを栽培している酒井さん親子。品種ごとに作り方が違い、手間が掛かりますが「お客さんのニーズに応えるため、新しい品種に挑戦することも大切」と父親の敏喜さんは言います。優覚さんが薦めるのはクイーンニーナという品種。「栽培は難しいけれど、香りがよく、実はプリプリ。糖度が高いのにくせがなく、女性に好まれるような味」と期待します。

追いたい父の背中——

優覚さんに幼い頃の思い出を聞くと「ブドウには嫌な思い出の方が多い」と苦笑い。それでも中学生の頃には、「父が始めたブドウ栽培を一代で終わらせるのはもったいない。長男の自分が継がなければ」と将来を決めていました。高校・大学で農業を学び、迷わず家業を継ぎました。

「今年で7年目。親子ですと腹が立つことが多いけれど、学ぶことも多い。父はブドウのおいしさを追求してきたので、これからは見た目の美しさも追求して、一緒に芸術品のようなブドウを作りたい。まだまだ背中を追わせてほしい」



上：丁寧に袋詰めする作業 下：酒井さん親子が栽培に挑戦しているクイーンニーナ



収穫時期を迎え、ブドウがたくさん実っている農園で。左から、母・酒井多喜江さん、敏喜さん、優覚さん、農園に住みついた元野良猫のナツ

顔が見えにくい農家だからこそ、人間関係を大切にしてほしい

本音は心配——。田舎の人口減少は、販売の難しさにもつながっています。物が売れず、地域に元気がないと若者が残らないという悪循環。ブドウ農家がみんなで知恵と力を出し合わなければ、将来生き残れないのではと心配しています。

ありがたいことに、今は収入が見込めるので、後継ぎは多いようです。これからは



若い人が力を合わせて、先を読んだ経営をしてほしいと思います。

私は、父の体が弱かったので、家を任されるのが早かったです。自分の責任であることが成長につながったので、息子にも早く渡せたらと考えています。

ずっとお客さんとの人間関係を大切にしてきました。それを息子も継いでくれます。これからも息子と一緒に、おいしくお得なブドウを作って、こんな山の中まで足を運んでくれるお客さんの期待に応えたいです。

「昔はほぼ一人でしていたブドウ作り。今は3人になってかなり楽になった」と敏喜さん

Interview



酒井 敏喜さん(60) = 大久保 =



無関心からトマト農家一筋へ

小学生の頃の夏休みに、両親から「トマト農家は夏なんか休みないよ」と聞かされていた大塚美紗樹さん。嫌という気持ちはなかったけれど、「私は家を継がないだろう」と思っていました。高校卒業までは手伝うこともなかったのですが、一生懸命にトマトを作る今の姿に、周囲も驚いているそうです。

手伝いをするきっかけは「働いていた会社が倒産したから」。実家に戻って臨時職員をしていましたが、「家にいたら家族みんなが忙しそうなので、自然と手伝うようになった」と振り返ります。「考えていた再就職はやめて、いつの間にかトマト農家一筋。家族の支えになれているのがうれしくて、もう10年も続いた」と笑います。

乙女の苦悩――

「それでも継ぐかどうかは、まだ分からない」と心境を明かす美紗樹さん。「今は父が水の管理や病気の対策をしてもらっているし、的確に指示を出してくれるのでやれている。私もいつか結婚したいし、一人で全部背負うのは難しい。でも、この農園が荒れ放題になるのは寂しい。家では後継者の



実ったトマトを収穫する。収穫の他にも、花や葉をとる作業など、手間が掛かるトマトの栽培。「暑いから大変」と美紗樹さん

話は出ないけれど、家族みんながこの農園を大切に思っている」と苦悩をにじませます。美紗樹さんは「父が稲作にも力を入れている。できなくなったら父に頼むので、管理する田んぼがどんどん増えた。トマトの収穫時期と重なり、人手が足りなくて大変だけど、それ以上に後継者不足を肌で感じている」と地域の現状を憂います。「両親も少しずつ年を取るから、いつかは真剣に考えないといけない日が来る。ただ、どんな選択をしても、何も関わらない状態はない。トマト作りに挑戦する親の姿を見てきたから、少しでも力になりたい。それが今の素直な気持ち」と顔をほころばせました。

CASE 3 トマト作りに捧げた20代。それでも「継ぐ」と言えない難しさ

家族を支えるための仕事 自分のためにするのは難しい

大塚^{みさき}美紗樹さん(29) = 宮原 =

Interview



大塚^{いちろう} 一郎さん
(56) = 宮原 =

継ぐのは娘じゃなくてもいい。そのために働く環境を整備したい

自分の父親の代からしているトマト農家。大分県で10年間、しいたけの指導員をしてから、リターンして後を継ぎました。トマト作りは素人だったけれど、継ぐ意志は伝えていたので、父親が私のやりやすいように基盤作りをしていてくれました。



後継者のことは、私自身もまだ深く考えていません。何をするのも娘の幸せが一番なので、意思を尊重したいです。ただ、誰が跡を継ぐにしろ基盤作りをしてあげたい。ある程度の機械化、トイレや空調などの働く環境を整備することは、今働いている家族や従業員のためにもなります。一つ一つステップを踏んで、収入を安定させることが自分の役割。今の状態では後を継ぐのも難しいです。娘に苦勞をさせたくないのは、親はみんな同じだと思います。美紗樹は黙っていてもやる子だから、頼りになりますが無理をしないでと伝えたいです。面白いことも、厳しいこともある職業だから、ゆっくりと考えて選んでほしいです。



右：ツルが上に伸びるので、横に伸びるようヒモで誘導する 左：収穫したトマト。まだ青いが、市場に並ぶころには真っ赤になる





大洲農業高校

教諭

二宮 忠士さん

立川中央

大地に夢は描ける—— 本来、農業は魅力ある職業

昔は地域の農業の最先端は、農業高校という時代がありました。農家の後継者が農業を学ぶのが、もちろん主流でした。でも今は時代が変わり、毎年大洲農業高校の卒業生の内、すぐに就農する生徒はいません。農業大学に進む生徒もありますが、大学卒業後にも農業をする人は少ないのが現状です。

今回の特集を読ませてもらい、農家にいい後継者がいることをうれしく思いました。同時に厳しい現実も感じました。尾形さんの「第三者でもいいから農地を守ってほしい」という気持ちがよく分かります。私も農業をしていた父を2年前に亡くしました。そして後を追うように母も——。農家を継ぐ長男ですが、土地を守るのが精一杯。農地が少しずつ荒れるのを見て、心苦しく思っています。

農業のやりがいや魅力は、農業をしながらでないと感じられません。大洲農業高校では、そんな農業の魅力に触れられる授業をたくさんしています。すぐに就農する生徒はいませんが、その喜びを知ることが、後々に農業を志す動機になればと思います。

農業法人の会社に入社したり、非農家の子がIターンなどで農家を目指したり、若者が農業をする機会や支援は増えています。同じように農家の子たちが安心して農業を継げる社会の仕組みや制度があれば、よいと思いました。若者が大地に夢を描くことができれば、農業の未来は少し変わるのかもしれない。

きれいな庭のような
観光農園。時期が合
えばブドウと梨が一
緒に楽しめる



梨の袋詰め作業をする
尾形さん

自分も思う「農業なんか」
梨、ブドウ、柿などの果樹を主に栽培し、梨とブドウの観光農園も経営している尾形秀明さん。41歳のときに会社を辞めて、農業を継ぎました。「子どもの頃は、親がタバコ栽培をしていた。当時は機械なんかないので、もちろん子どものも私でも、大きな戦力だった。春休みに植えて、夏休みに収穫——。しんどい仕事をしているのに、そんな裕福でもない。多分、僕らの世代は『農業なんか』と持っている人が多いはず」と当時を振り返ります。

「『農業なんか』と自分も思っていたから、跡を継いでほしいと2人の子どもたちには言っていない。長男は梨作りの勉強をしているから、少しは期待している」と本音が出ます。
農地は守りたい、けれど——
「家業を継いだのもそうですが、長男なので先祖代々の農地を守らなければという思いがある。農家はみんな同じ気持ち」と語る尾形さんですが、7月の豪雨災害で柿農園が大きな被害を受けました。「3分の1くらいの農園が崩れた。補助は出るけれど、自己負担額も結構多い。」

後継者がいるなら、すぐ直すんだけど」と肩を落とします。
耕作放棄地には絶対しない
最近ではIターンの若者に期待しているそうで、「本気で農業をする若者が増えているのは、うれしい。うちの農園でもIターンの若者が来て、作業を学びながら、手伝ってくれる。惜しみなく技術を伝えたい」と笑顔を見せます。「自分の子ども以外に受け継ぐ、第三者継承というのもある。農地が残せるなら、それも考えんといけん。耕作放棄地にはしたくないから」と力を込めました。

CASE 4

後継者不在に悩みながらも、農地は守っていきたい

先祖代々の農地を守りたい、 思いは、みんな同じ——

尾形 秀明さん(57) = 和田 =



夢をかなえたので、農家は継げない。果物を使うことで支えたい

母が入院したため2年間くらい、父の農園の手伝いをしました。大変だったので、私には無理な職業だと身に染みて分かりました。父はいろいろな果樹を手掛けているのですが、特にブドウが大変です。粒を大



きくするためにする摘粒は、背が低い私にとって過酷な作業。ずっと見上げて作業するので、肩と首の痛みがひどかったです。

今はケーキ屋になる夢をかなえて、実家の近くに「あんしゃんて」という店を出しました。父が作る果樹を素材にした、ケーキやパンもあります。今は観光農園の手伝いくらいしかできませんが、店を出すときに後押ししてくれた両親には、感謝の気持ちでいっぱいです。

「ケーキ屋ですが、地元の人たちがパン屋と
思っているので、パンも焼く」と笑う茄永子さん

Interview



尾形 茄永子さん
(23) = 和田 =



7_ いよいよ本番。出番を前に余裕の表情

6_ 他の出演者の衣装にも興味津々

5_ 茂山狂言の役者が裏方に徹してくれた



11

10

9



13



12



15



14

8_ 神が現れる「福部の神」の一場面。 9_「福部の神」で使われる瓢箪などの小道具 10_「橋掛かり」と呼ばれる通路から登場 11_ 千三郎さんが内子町を舞台に書き下ろした新作狂言「かみ遊び」。蠟作りの工程の一つ、唐棹でハゼの実を落とす場面 12_ 小田の燈籠も登場 13_ 晴れ舞台を映す保護者のカメラ 14_ 観客から拍手が起こる 15_ 緊張感から解き放たれ、楽屋でぐったり



16



17

16_ 五十崎の凧を高々と掲げる 17_ 狂言独特の笑いで笑顔をつくる千三郎さん（前列中央）と内子こども狂言クラブの皆さん



年間を通して能楽が行われる「金剛能楽堂」。舞台は老朽化した旧金剛能楽堂から移築した

1_ 千三郎さんの自宅兼稽古場で前日練習に励む 2_ 千三郎さんによる直接指導 3_ 本番当日、金剛能楽堂で直前練習。竹竿を使って上げられた揚げ幕の下をすり足で進んでいく 4_ 本番直前に千三郎さんが集まったスタッフなどに、内子こども狂言クラブを紹介。温かく迎えられた。



4



1



3



2

「かみ遊び」の二つの演目を堂々と披露。客席からは温かい拍手が送られました。

内子座の新たな100年の取り組みとして発足した同クラブ。世界中の視線が日本に注がれる2020年に、東京で「かみ遊び」を披露するという大きな目標を掲げています。今回の経験が、内子生まれの狂言を世界に向けて発信するための足掛かりとなるか、新たに踏み出した第一歩を、写真でお伝えします。

7月29日、京都府京都市の「金剛能楽堂」――大蔵流狂言師・茂山千三郎さんを師とする「三ノ会」の発表会の日です。そこに、同じく千三郎さんから指導を受ける「内子こども狂言クラブ」の姿がありました。普段は内子座で活動する同クラブですが、内子で生まれた狂言を広く知ってもらうことを目的に、初めて内子を飛び出して京都の発表会に参加しました。子どもたちはいつもととは違う舞台に緊張しながらも、「福部の神」と内子町オリジナル新作狂言「かみ遊び」の二つの演目を堂々と披露。客席からは温かい拍手が送られました。

子どもたちの未来を応援したい—— 株森本が英語教材などを町に寄贈

「株伊予銀行ふるさと応援私募債」の発行を記念して、株森本（森本誌朗代表取締役社長）から内子町への「寄付贈呈式」が7月26日、内子町役場で行われました。

贈呈式では森本社長からプロジェクト・英語教材・寄付金の目録が手

渡され、稲本隆壽町長が感謝状を贈りました。

内子町の地域創生を応援する森本社長は「寄付金は子どもたちの英語教育に役立ててほしい。子どもたちが世界や未来に向かって羽ばたける活動を期待している」と、メッセージを添えました。



（左から）稲本町長、森本社長、前伊予銀行内子支店長・黒川定男さん

姉妹都市の子どもたちが交流 互いのまちの忘れられない夏



お山の学校で五右衛門風呂を体験する子どもたち

「宜野座村親善訪問交流事業」が7月下旬～8月上旬に行われ、子どもたちが互いの町村を訪問して交流を深めました。

同事業は旧五十崎町と沖縄県宜野座村が姉妹町村協定を結んだのをきっかけに始まり、2年に1回、行われています。

8月5～8日には宜野座村の訪問団（仲里信男団長他10人）が来町し、豆腐づくりや和紙づくりなどを体験した他、笹踊りにも参加しました。横田夏樹さん（小田中2年）は「いい友だち、いい思い出ができた。大切にしたい」と笑顔でした。



1_緊張感が伝わる立会い 2_土俵際の粘りに、ひときわ大きな歓声が上がる

小さな力士たちの熱い一番 夏恒例の「内子町子供相撲大会」

「第14回内子町子供相撲大会」（内子町教育委員会他主催）は8月8日、知清河原相撲場で開かれました。町内6つの小学校から96人が出場。制限時間内には勝負が付かず、取り直しになる一番など、両者譲らない力と技のぶつかり合いが繰り広げられました。

団体の部では内子小の連覇を天神小が阻み、6年ぶりの優勝を果たしました。個人戦の優勝者は次のとおりです。

■個人の部優勝者

	男子	女子
1年生	織田 蒼晴（内子）	中野ここな（天神）
2年生	山岡 夢登（天神）	大久保はな（五十崎）
3年生	大野 智輝（天神）	弦田 彩那（内子）
4年生	高森 一輝（内子）	高岡幸音羽（大瀬）
5年生	宮田 晃和（内子）	河野さくら（天神）
6年生	平井 遥陽（天神）	明智 千夏（大瀬）

人間国宝の技に拍手喝采 「第22回内子座文楽公演」

「第22回内子座文楽公演」（同実行委員会主催、源田恒雄実行委員長）が8月25、26の両日、内子座で開かれました。

25日には、西予市出身の人形遣い・吉田和生さんが昨年、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されたことを祝して、同実行委員会から山田きよさん製作の記念版画が贈られました。吉田さん

は「文楽を楽しみにしてくれている人たちのおかげ」と感謝を述べました。今回は三大名作の一つ「菅原伝授手習鑑」より、三段目「茶筌酒の段」や四段目「寺子屋の段」などの演目が公演されました。

吉田さんは三つ子の一人・桜丸を巧みに操り、切腹する場面で観客の涙を誘うなど、迫真の演技で観客を魅了しました。



5位入賞に喜ぶ内子小学校自転車チームの児童たち

内子小学校自転車チーム 全国大会6年連続出場＆5位入賞

「第53回交通安全全子供自転車全国大会」（勸全日本交通安全協会等主催）が8月8日、東京都で開催、6年連続で出場した内子小学校自転車チームが団体の部で5位、個人の部で松田愛さんが2位に入賞しました。

同大会は自転車事故の

防止を目的に開催され、今年は都道府県大会を勝ち抜いた47チーム188人が、交通ルールの知識を問う学科や安全走行などの実技で競いました。

指導した山本浩史先生は「子どもたちの無限の可能性を感じた。素晴らしい結果」と称えました。

5歳の本田ひまりちゃん ピアノの大会で四国の頂点に

「第42回ピティナ・ピアノコンペティション」（勸全日本ピアノ指導者協会主催）の入賞者記念コンサートが8月18日、東京都で開かれ、本田ひまりちゃん（5）＝立川中央＝が出演しました。

ひまりちゃんは四国本選で1位に輝き、全国大

会での出演権を得ていました。ピアノを始めて2年目の快挙に、母の亜純さんは「ステージを重ねる度に、成長を感じる。吸収力がすごい」と驚きます。ひまりちゃんは「全然緊張しなかった。ピアノ大好き」と満面の笑みで話しました。



愛媛予選、四国本選のトロフィーを手にする本田ひまりちゃん



1 梅王丸と松王丸が取っ組み合いの大げんかをする場面 2 桜丸が切腹し、泣き崩れる妻



1_小型バックホウのボールすくいが子どもたちに大人気 2_スマホスピーカーづくりに挑戦する親子 3_ハンモックに揺られて森林浴 4_初めてのチェーンソー体験は緊張感も楽しい

森と林業の魅力を凝縮した2日間 「ワンツーツリーフォレスト」

標高1000^{メートル}で林業体験とキャンプを楽しむ「ワンツーツリーフォレスト」(同実行委員会主催、武田惇奨実行委員長)が8月18・19の両日、ソルファ・オダスキーゲレンデで行われました。

2日間で約700人が来場し、木材搬出を疑似体験できる「こどもきこり市場」や廃材を利用した木工体験の他、林業機械を使った丸太積みやボールすくい、森林体験など、林業や森に触れられる催しを楽しみました。またゲレンデ内の杉を伐採・造材して作業を実演したり、宿泊客限定の天体観測を行ったりと、初開催の昨年より内容が充実。子どもたちの生き生きとした表情や楽しそうな笑顔が、たくさん見られました。

松山市の河野篤紀^{あつき}くんは「機械が好き。オモチャとは全然違って楽しかった。初めて使ったチェーンソーのブルブルがすごかった」と興奮気味に感想を話しました。武田実行委員長は「林業機械の働きや森林で過ごす心地よさなど、山や林業の魅力を紹介できた。今後も活動を広げて、林業に関わる人を増やしたい」と意気込みました。



防災ハガキを持つ小田小の児童と小田郵便局の皆さん

あなたの心に届いてほしい—— 小学生と郵便局員の思いが「防災ハガキ」に

小田小学校の4・5年生が描いた「防災ハガキ」が8月中旬、小田地域の全戸に配られました。地域の防災意識を高めてほしいと小田郵便局が企画し、今年で2回目。ハガキや印刷の費用は個人や企業、消防団からの寄付で賄っています。郵便局員の岩中学^{まなぶ}さんは「子どもたちのメッセージを一枚一枚、大切に配達した。災害はいつ起こるか分からないので気を付けて」と呼び掛けました。

たいまつのに願う五穀豊穰 夏の風物詩「虫送り」を町内各地で挙

五十崎地域の柿原地区や上宿間地区などに伝わる「虫送り」が8月21日、柿原川周辺などで行われました。この伝統行事では火を灯したたいまつを持って虫を焼き、地域の五穀豊穰を願います。柿原地区では約60人が集まり、鐘や太鼓を鳴らしながら田んぼのあぜ道などを練り歩きました。夕日が沈む中、一列に並んだたいまつのに炎が、幻想的な情景を浮かべていました。



柿原川の土手を練り歩く柿原地区の皆さん

夏休みの思い出は内子の文化体験 初めての「子ども文化体験教室」

夏休みに内子町の文化活動に触れてもらおうと「子ども文化体験教室」(内子町文化協会主催)が7月28日、共生館で初めて開かれました。押し花アートや版画など5つの教室で、参加した約80人が制作活動などを楽しみました。版画をした大崎桃子^{ももこ}さんは「なかなかできない体験なので、子どもが夢中になって作っていた。すてきな作品ができた」と満足そうでした。



貝殻アート・スパイスロープ作りに挑戦した子どもたち

夏の大自然が僕らの先生—— 小田深山で5泊6日の体験イベント

小田深山の大自然を舞台に子どもたちの感性を育む、「夏山ネイチャーキャンプ2018」が7月31日～8月5日、ソルファ・オダスキーゲレンデで開かれ、町内外から36人の子どもたちが参加しました。夜の森のナイトハイキングやツリーハウス作りなど、貴重な体験をした子どもたちは「テントから見た星空がとてもきれいだった」「たくさん友だちができた」と大喜びでした。



自分たちのテントを自分たちの手で立てる

木蠟でクレヨンができるんだ 上芳我邸で学んで遊ぶ体験講座

木蠟の作り方や用途の広さを伝える「夏休み体験講座・木蠟クレヨンとエコバッグづくり」が8月4日、木蠟資料館上芳我邸で行われました。同資料館では木蠟クレヨン作りを毎月1回行っていて、今回は作ったクレヨンでエコバッグ作りにも挑戦しました。松山市の徳永伶菜^{れいな}さん(15)は「顔料をつぶす作業が、日本画を描くときの手順と似ていて面白かった」と感想を話しました。



自作の木蠟クレヨンでエコバッグをデザイン

みんなに学んでほしい、睡眠の大切さ 「元気におはよう内子っ子展」

睡眠の大切さを学ぶ資料を展示した「元気におはよう内子っ子展」(内子町養護部会主催)が8月1～31日、図書情報館で開かれました。同部会は、より良い睡眠習慣の定着を目指す取り組みに力を入れており、資料は29年度から授業のために作ったものなどです。養護教諭の吉岡由紀^{ゆき}さんは「睡眠は健康の元。展示が好評だったので、文化祭などでも啓発したい」と話しました。



楽しく学ぶ仕掛けがいっぱいの展示



内子笹まつり 8月6・8日

5_ たらいに流れ込む井戸水と、その冷たさに喜ぶ子どもたち 6_ 笹飾りと浴衣で日本の夏を楽しむ。今年は41本の笹飾りが商店街を彩った。 7_ 25連・1,050人が参加した笹踊り。華麗な踊りを披露した「真美組」



小田燈籠まつり 7月29日

8_ 美しい大絵燈籠が流れるように町並みを通る 9_ 大婆に捕まって大泣きする子ども 10_ 燈籠を運ぶ親子。1,000個の燈籠を川に流して、魂を弔った 11_ 一段と華やかな女性だんじり。大きな掛け声で祭りを盛り上げた



ふるととの 夏まつり 思い出のアルバム

いかざき夏まつり花火大会 8月14日

15分間で約700発の花火を一気に上げ尽くす迫力の花火大会。災害の復興を願う大輪が、人々の心に焼き付けられた――。



寺村山の神火祭り 8月15日

1_ 寺村地区を照らす花火とオヒカリ 2_ 帰省客などにぎわう会場。友人との再会も楽しみ 3_ 火模様の当番組は中通り2・3班。火祭りに「195周年」の文字を描いた 4_ 六角山から運んだ種火を点灯する小学生



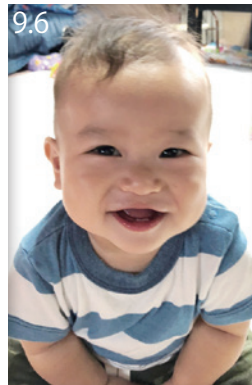
HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめての バースデー

9月に満1歳になる
子どもたちを紹介します。



9.13
上田 陽愛ちゃん 今岡
お兄ちゃん大好き！ 早く一緒に
散歩行きたいね。



9.6
白石 琳仁くん 田中
兄ちゃん大好き♡ ご飯大好き♡
すくすく成長中！



9.29
植岡 莉叶ちゃん 下立山
お姉ちゃんが大好きです♡ 負け
ないくらい大きくなるぞ！



9.25
源 紫月くん 岡第2
僕はお風呂が大好き。ねえねと一
緒に大きいお風呂に行きたいな。



9.25
亀田 紗矢奈ちゃん 松尾
甘えん坊で、いろいろな物に興味
津々☆ ねえね仲良くしてね♡

「いのちの授業」 命の大切さ、親の思いを次の世代へ — 赤ちゃんともママ・パパを募集します



「いのちの授業」では、中学生に命の大切さを伝えてくれる親子を募集しています。赤ちゃんの持つ人を幸せにする力や、親の気持ち、産み育てることを知り、優しい心を養う授業です。赤ちゃんと一緒に中学生と交流してみませんか。

- 日時 11月14日(水)
- 時間 午前9時40分～11時40分
- 場所 小田中学校体育館
- 内容 小田中学校の生徒に赤ちゃんを抱っこさせてあげたり、一緒に遊んだり、育児の話をしたりして交流する
- 対象 おおむね4カ月～1歳の赤ちゃんと保護者

- 申込期限 9月28日(金)
- ※ 当日、会場には授乳室とおむつ替えのスペースを用意しています。

【申込・問い合わせ】
内子町子育て支援センター
☎0893(44)6355



過去に開催した「いのちの授業」の様子

FROM ME TO YOU



みんなでつないでリレーエッセイ

「農業への挑戦」



吉田 豊さん(44)
寺成

私は2年前、20年間勤めていた会社を退社し、両親の後を継いで農業を始めました。何年も前から考えていたことだったので、なかなかふんざりがつかず、時間が経ってしまいました。42歳のとき、新しいことに挑戦するのは今しかないと妻に相談して決断。最初は両親と考えるが違い、ぶつかることが多く本当にやっていけるか不安でした。まだまだ分からないことが多く、勉強の連続ですが、少しずつ農業の魅力を感じています。

経営の主力は花栽培で、トルコキキョウ、かすみ草などを作っています。種まきから始まり、苗になったらハウスに植えて約3、4カ月で収穫します。その間、毎日水やりをし、枝や蕾の手入れ、消毒などの世話をします。小さな苗が大きな花を咲かせたときは、いつもほっとします。当然ですが、植物は話ができませんので、何が足りなくて、何を求めているか観察して判断しなければなりません。奥が深く、ものにするにはなかなか時間がかかりそうです。花以外にも野菜や原木椎茸の栽培をしています。まだまだ可能性を秘めている農業。いろいろな見方をして、新しい農業への挑戦をしていきたいと思っています。

6年前に小田に帰ってきて、妻や子どもたちもすっかり田舎生活に慣れてきました。これからもふるさとの自然と農業の魅力を感じながら、両親、家族と共に前を向いて頑張っていきたいです。

▼次は、宮内隆司さん寺成

にお願いします。

●作った人



成川 宏子さん
＝川中2＝

●材料(4人分)

おから80g/ニンジン60g/キュウリ40g/ハム20g(A)酢小さじ2/3、みそ小さじ2/3、マヨネーズ大さじ3、しょうゆ小さじ1/2

●作り方

①ニンジンは皮をむき、せん切りにする。2分ほど塩ゆでし、ザルに上げて水気を切る/②キュウリは塩を振って板ずりをして、流水で洗い、せん切りにする/③ハムをせん切りにする/④おからに①②③とAを加え、混ぜ合わせて完成



わが家の一皿
SPECIAL DISH

「おからサラダ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」9月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①一日まるごとドイツ気分！
「○○●○○○○2018」を開催します
- ②きれいな町で来訪者を迎えよう。9月は「○○○○○○○○○○○○●○○○」の強化月間
- ③夏の大自然が僕らの先生——「○○●○○」で5泊6日の体験イベント
- ④「●○○○○○○○○○○」でおなかまわりスッキリ
- ⑤浄化槽の「○●○」できていますか？
- ⑥こども狂言クラブが稽古の成果を披露した場所は、京都の「○○●○○○○○○○」

応募方法：
ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：9月30日（消印有効） 当選者発表：「広報うちこ」11月号

● 7月号当選者の皆さん

答え「かぶとむし」 正解数31
 ・新田あずみさん（富長）
 ・高松 誠一さん（上立山）
 ・白石ミヤコさん（川中1）
 ・谷口 久子さん（石畳7）
 ・山本すずかさん（上町）
 ・松本美智恵さん（妙見町）
 ・森本 良子さん（岡第2）
 ・城本 寿子さん（柿原）
 ・宇都宮由季さん（松山市）
 ・庄司 和晃さん（東京都）

家庭などに設置されている浄化槽は、維持・管理を怠ると処理機能が低下します。悪臭が発生したり処理不十分で汚水を排水してしまったりと、水質汚濁につながる恐れがあります。そのため、法律では全ての設置者に対して、



浄化槽の管理
できていますか？

維持・管理に関する次の3つを義務づけています。設置者の責任として、毎年忘れずに依頼しましょう。

《保守点検》
装置の調整や修理、汚泥の状況確認、消毒のための薬剤補充をします。

《清掃》
処理機能が低下する原因である、微生物の死骸や汚泥を取り除きます。

《法定検査》
清掃と保守点検が適正に行われているか、年1回、中立な立場の第三者が検査します。定期検査ともいいます。

※清掃業務は清掃の許可を持つ業者、保守点検は愛媛県に登録している業者に限られます。許可・登録業者が分からない場合は、ご連絡ください。

【問い合わせ】
▽清掃業者に関すること 環境政策室 ☎0893(44)6159
▽清掃以外の浄化槽に関すること 建設デザイン課上下水道対策班 ☎0893(44)6158
▽点検・検査に関すること (公)愛媛県浄化槽協会 ☎089(925)2661



ガラス製のコップは何ごみ？

□ガラス製のコップを捨てたいのですが、資源ごみ（空きビン）か燃えないごみかで迷っています（40代女性）
 ■ガラス製のコップは燃えないごみです。資源ごみ（空きビン）は、人やペットの飲食料用のビンや飲み菓のビン

です。同じように見えるコップですが、実は素材が異なります。混ざるとうまくリサイクルができないため、分別にご協力ください。
 【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159

「自転車大会」個人の部で全国2位

松田 ^{まな}愛さん（12） 内子9

内子小自転車チームの一員として「第53回交通安全子供自転車全国大会」に出場した松田愛さん。見事、個人の部で2位の成績を収めました。

個人の成績がチームの順位につながる同大会。「個人も団体も入賞することを目標に、これまで週4日の放課後練習を頑張ってきた。全国大会はレベルが高くて、独特な雰囲気。ミスをしたくないという緊張から、普段通りの力を発揮できたか不安もあったので、2位で名前を呼ばれたときは驚いた」と当時の心境を語ります。

内子小は団体でも5位に入賞。「もっと上の順位を目指していたので、複雑な気持ち」と悔しさ（ひげつ）をにじませます。「内子小自転車チームの強さの秘訣は、受け継がれてきた伝統にある。来年も、下級生がさらに上を目指して頑張ってくれたらうれしい」と松田さん。「大会を通して身に付けた交通安全の知識と技術を、普段の生活に生かしたい。これからも、みんなの模範となるような交通マナーを心掛けます」と笑顔を見せました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

初めまして。サミーです



FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

外国語指導助手
サマンサ・ジャーナギン

Samantha Jarnagin

皆さん、初めまして。8月から内子町の外国語指導助手に着任した、サマンサ・ジャーナギンです。「サミー」と呼んでください。出身はアメリカ中西部ミズーリ州の小さな町、セントルイスです。町にはミシシッピ川が流れています。冬とても寒く、夏はとても暑く、湿気が多いのが特徴です。アイスクリームのコーンやホットドッグ、ハンバーガーや綿菓子など、日本でも人気のあるこれらの食べ物、実はセントルイスが発祥です。また、日本人野球選手の田口壮（そう）さんが「セントルイス・カーギナルス」というチームに5年間所属していました。

愛媛県は初めてですが、高知県のよさこい祭りに参加するため、

四国を訪れたことがあります。とても美しい印象を受けました。高知県に10日間滞在しましたが、四国の魅力を堪能するにはもう少し期間が必要でした。四国に着任することが決まったときから、とてもわくわくしています。

交換留学生として約1年間、東京都の池袋で生活したこともあります。立教大学で、日本語や日本文化を学びました。時間があるときは、東京近郊を探索していました。大阪や京都、奈良にも行きました。東京や高知で過ごした時間はとても楽しかったです。愛媛県と内子町のことも、きっと大好きになると思います。皆さんの良い仲間となれますように——。これから、よろしくお願いします。



ハワイを身近に感じた一日になりました

楽しく異文化に触れることを目的に、夏休み特別企画「ハワイの生活を知ろう」を7月23日、六日市自治会館で開催しました。参加した小学生24人は、講師のターシャさんとカイラさんにハワイの食べ物やハワイ語について学んだ後、フラダンスやカード作りに挑戦しました。

カイラさんはハワイでプロのフラダンサーとして踊っています。教え方も上手で、最初は「難しそう」と言っていた子どもたちも、少しの練習で上手に踊れるようになりました。ターシャさんは子どもたちと一緒に、ハイビスカスやイルカのスタンプなどを使ったオリジナルカードを作りました。みんなで楽しく話しながら、ハワイの文化に触れていました。



1_ 振付けの意味も教えてもらいながらフラダンス
2_ 夢中でオリジナルカードを作る子どもたち

新しいALTのご紹介

サマンサさん、ようこそ

8月1日に内子町の新たな外国語指導助手(ALT)としてアメリカ出身のサマンサ・ジャーナギンさんが着任しました。町内の幼稚園や保育園、小学校で外国語指導を行います。

9月からは、当協会が主催する英会話講座や「英語であそぼう」の講師も務めます。

- 出身 アメリカ・ミズーリ州
- 趣味 ポッドキャストを聞くこと、ビデオゲーム、読書
- 内子で挑戦したいこと 和食づくりや登山。たくさんの方と交流したい

よろしくお願いします！



サマンサ・ジャーナギン
Samantha Jarnagin

【寄付のお礼】

井上淳 一様より内子町国際交流協会へ寄附をいただきました。心からお礼を申し上げます。

図書館へ 行こう

内子町図書情報館
〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
☞ <http://www.town.uchiko.ehime.jp/library/>
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：月曜日・月末整理日・年末年始

●「英語の本棚」コーナーを設置
幼児から中学生までが英語に興味を持てるように、幅広い分野から本を選びました。日本昔話の英語版や、外国の童話など英語で楽しく読める本をそろえています。ぜひ、見てください。



英語の本棚コーナー

●休館日のお知らせ

図書館のシステムを整備するため、図書情報館・五十崎分館・小田分館とも休館します。しばらくの間、ご迷惑をおかけします。

●文学講座

▽9月8日(土)午前10時～
▽内容 「古典をひもとき人生を考える」
▽講師 村山洋子さん

●おはなし会

▽土曜日・午後2時～
9月1日 むしこまど
8日 むしこまど
15日 むしこまど
22日 どんぐり会

▽休館日 10月16日(火)
31日(水)

●9月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家》
▽中岡満義遺作展

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



スタンドアップ！
五十嵐貴久／著
夫のDVから娘を連れて逃げた33歳の愛。同僚のダイエットの付き添いでボクササイズを始めると、素質を見出され、プロを目指すことに……



唱歌の社会史 なつかしさとあやうさと
永澄憲史／著
懐かしさや叙情性を感じる文部省唱歌だが、ときに危ういメッセージがひそむ。愛される唱歌を日本史、詩歌などの観点から多面的に論じる



国立がん研究センターの大腸がんの本
金光幸秀／ほか監修
国立がん研究センターの経験と先端的情報をもとに、大腸がんの治療や手術後の注意など、がん患者や家族が知りたいと思う知識を収録

♥児童図書



だんしゃく王とメークイン女王
荻田澄子／文
じゃがいもの国のだんしゃく王とメークイン女王は、同じ願いを持つのに、けんかばかりしてしまい……。野菜が好きな読み聞かせ絵本



おしっちょっぴりもれたろう
ヨシタケシンスケ／作
僕はパンツにおしっこがちょっぴり漏れちゃうから、いつもお母さんに怒られて……。僕みたいに困っている人、他にもいるんじゃないかな



カナヘイの小動物 絵をみてパッとみにつく英語リスニング
カナヘイ／イラスト
日常英会話でよく使う英語をカナヘイのかわいいイラストで分かりやすく解説。音声ファイルをダウンロードできるアクセスコードとCD付き

○ みんなで考えよう、人権問題 町民意識調査にご協力ください

内子町では3年に1度、人権問題に関する町民の意識調査を行っています。調査結果は、今後の人権・同和教育および啓発活動に役立てます。

30年度は次の要領で調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。全ての人々の人権が尊重され、差別のない明るく心豊かな町をみんなでつくりましょう。

●実施主体 内子町教育委員会
内子町人権教育協議会

●調査対象 町内在住の20歳以上の男女、各600人（合計1200人）

●選出方法 住民基本台帳から年代・男女別で無作為に抽出※抽出された対象者へ調査票を郵送します。回答を同封の返信用封筒で返送してください。

【問い合わせ】
自治・学習課 生涯学習係（内子分庁内）
☎0893（44）2114

○ きれいな町で来訪者を迎えよう 9月は屋外広告物適正化の強化月間

訪れた人々を美しい景観で迎えるために、愛媛県と各市町は、違反屋外広告物の除却などをして、景観を維持しています。

9月はこの活動の強化月間です。信号機や道路標識に貼られたステッカー・はり紙などの違反広告物を撤去しますので、見かけた場合は、ご連絡ください。内子町内で看板・立て看板などを表示する場合は、内子町屋外広告物条例に基づく許可が必

要です。屋外広告物を設置する場合は、県に登録した屋外広告業者に依頼してください。

【問い合わせ】

総務課 政策調整班
☎0893（44）6151



町並み保存地区の景観

○ 31年度奨学生を募集します

内子町は経済的な理由で就学が困難な人に対して、奨学金を無利子で貸与します。

●募集人員／貸与金額（予定）

▽内子町奨学生

・高等学校奨学生 7人／月額1万8000円

・大学奨学生 8人／月額5万円

▽高畑奨学生

大学奨学生 2人／月額7万円

●貸与期間 31年4月から、進学した学校の最短期間

●貸与資格 ①～③を満たす人

①日本国民で保護者が内子町に在住する人の内、来春、高等学校または大学・専門学校な

どに進学を希望する人

②学業・人物ともに優れ、学資の支弁が困難と認められる人
③他の奨学資金・給付を受けていない人

●出願方法

▽町内在学 学校に相談の上、願書を提出してください

▽町外在学 内子町教育委員会事務局にご連絡ください

※返還の方法や猶予・免除などの詳細は、お問い合わせください。

【問い合わせ】

内子町教育委員会（内子分庁内）
学校教育課 学校教育係
☎0893（44）2124

○ 玄関先にステッカーを貼って 「身元調査お断り運動」に参加しよう



「身元調査お断り運動」の一環で、町内の全世帯へステッカーを配布しています。玄関先

などに貼って、運動にご協力ください。ステッカーが汚れたり剥がれたりしたときは、新しいものを届けますので、自治・学習課までご連絡ください。

【問い合わせ】

自治・学習課 生涯学習係（内子分庁内）
☎0893（44）2114

受給額を増やしたい人にお勧め 「国民年金付加年金制度」

コラム＊ねんきん瓦版

「国民年金付加年金制度」ってこんな制度

国民年金の一般保険料に、付加保険料として月々400円を納付することで、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされる制度です。

付加年金として上乗せされる年金額は「200円×付加年金保険料納付月数」となります。

（例）

付加保険料を10年間（120月）納付した場合

◎納付する保険料

400円×10年間（120月）＝48,000円

◎毎年老齢基礎年金に加算される年金額

200円×10年間（120月）＝24,000円

※物価に応じた増額・減額はありません。

国民年金を受け始めてから、2年間で納付した付加保険料分となり、3年目以降はお得です。

制度を利用するときの留意事項

- ・利用できるのは、国民年金第1号被保険者である農業者や自営業者、学生などです。
- ・希望する人は、役場の窓口または年金事務所へ申出書を提出してください。
- ・付加保険料だけの納付はできません。
- ・国民年金保険料の免除・猶予・学生納付特例を受けているとき、国民年金基金に加入しているときは、付加保険料を納付できません。
- ・納付期限は対象月の翌月の末日です。期限を過ぎると納付できません。

【問い合わせ】

○住民課 国民年金係

☎0893（44）6152

○松山西年金事務所

☎089（925）5105

—— 漂う和楽器の音色と月明かりに照らされる町並み ——

八日市町並 観月会

平成30年 9月23日・24日

●開催時間 午後6～9時

●場所 八日市護国伝統的建造物群保存地区

●主な催し

（両日開催）

▶行灯によるライトアップ

▶町家での琴の演奏

▶上芳我邸庭園の和楽器演奏会（吉井盛悟さん、山野安珠美さん）

▶月見団子の販売（200円）

※数量限定。お持ち帰りはできません。

▶手漉き和紙作品展 他

（24日のみ）

▶高昌寺のお月見茶房（200円・100食限定）

▶はぜとり唄・踊り

●開催日の交通規制

午後7～9時までの間、町並保存地区は車両通行止めになります。

※午後5時から9時半まで町並駐車場を無料開放しますので、ご利用ください。

【問い合わせ】

八日市・護国町並保存センター

☎0893（44）5212 ※火曜日定休

○「若年性認知症」の早期発見・治療のために

「若年性認知症」とは、65歳未満で発症した認知症をいいます。進行を遅らせるには、早期発見・治療が大切です。そこで地域包括支援センターでは、「認知症初期集中支援チーム」を設置し、40歳以上の人を対象に支援をしています。

40歳以上で、次のようなことがありましたら、ご相談ください。医療や介護の専門職が訪問し、適切な医療・介護に結びつ

ける他、自立生活を支援します。

- ・物忘れなどで、日常生活に支障が出ている
- ・認知症と診断されたけれど治療を中断してしまった
- ・認知症の症状で家族が介護や対応に困っている
- ・病院に連れて行きたいのに本人が拒んでいる

【相談・問い合わせ】

地域包括支援センター

☎ 0893(44)6154

○「在宅福祉サービス」で安心な生活を

在宅福祉サービスを紹介します。ぜひご利用ください。

《緊急通報システム事業》

緊急通報専用電話を貸し出します。専門業者が緊急通報に24時間体制で対応。月に1回以上、電話で安否を確認します。

- 対象 内子町在住の1人暮らし高齢者・重度身体障がい者
- 条件 緊急連絡のために利用者の親族など3人程度の協力者や居住地区の民生児童委員の承諾と、固定電話が必要
- 費用 月額200～300円

※固定電話に掛かる費用は利用者負担です。

《ミニデイサービス事業》

健康チェック、リハビリ、入浴などで、心身機能の維持を図ります。送迎や昼食もあります。

- 対象 介護保険制度を利用していない高齢者
- 条件 居住地区民生児童委員の承諾が必要
- 費用 1回1150円
- 【申込・問い合わせ】
保健福祉課 高齢者福祉係
☎ 0893(44)6154

○虐待を見つけたら、すぐに相談窓口へ

次のようなことを見かけたら相談窓口へご連絡ください。

- ・子どもの泣き声や大人の怒鳴り声が聞こえる
- ・体にあざや傷がある
- ・暴言を吐かれている
- ・ひげや髪が伸びているなど不衛生な状態で、介護を放棄されている

児童・障がい者・高齢者に対する虐待は、ささいなことが積み重なって問題が深刻になる場合があります。連絡者の情報は守られますので、虐待の早期発見のために、地域の皆さんのご協力をお願いします。

【連絡先・問い合わせ】

保健福祉課・地域包括支援センター
☎ 0893(44)6154

○「歴史まちづくりシンポジウム」で未来を語ろう

30年度中の策定を目指す「内子町歴史的風致維持向上計画」などを通して、内子町の未来を語るシンポジウムを開きます。

- 日時 10月14日(日)午後1時30分～4時30分
- 場所 内子座
- 参加費 無料
- 内容

▽歴史まちづくりの講演(講師・神戸芸術工科大学教授 西村幸夫さん)
▽まちづくりについてのパネルディスカッション 他
※受講希望者は9月30日(日)までにお申し込みください。



企画展示「うちこ研究室」では東京大学の学生たちの提案を展示

●企画展示「うちこ研究室」

- 期間 10月13日(土)～15日(月)午前9時～午後4時30分
- 場所 歴史民俗資料館
- 入館料 期間中は無料
- 【申込・問い合わせ先】
八日市・護国町並保存センター
☎ 0893(44)5212

平成30年7月豪雨で被災された皆さんへ
支援の
掲示板

- 申請方法 一部負担金などの免除を受ける場合は、対象となる事由を証明する書類を添えて、申請してください。詳しくは各係へお問い合わせください。

【問い合わせ】

○国民健康保険について
住民課 国民健康保険係
☎ 0893(44)6152

○後期高齢者医療保険について
住民課 後期高齢者医療保険係
☎ 0893(44)6152

○介護保険について
保健福祉課 介護保険係
☎ 0893(44)6154

負担軽減で被災者の皆さんを支援

内子町では被災した人たちの負担を軽減するため、国民健康保険と後期高齢者医療保険の窓口負担と、介護保険のサービス利用料を免除します。

内子町の各保険の被保険者であれば、住所地特例などで町外で生活していて、被災した場合も対象です。国保税などの町税、後期高齢介護保険料も減免できますのでご相談ください。

●実施期間 10月31日まで

- 対象者 次のいずれかに該当する人
 - ・住家の全半壊、床上浸水などの被災を受けた
 - ・主な生計維持者が死亡、重篤な傷病を負った
 - ・主な生計維持者が業務を廃止、休止、失業などで、現在収入がない

営農再建を支援する相談窓口

被災した農家が、営農を再開するために利用できる補助事業の紹介や営農を継続するための技術支援など、さまざまな相談にワンストップで対応する窓口を設置しました。

●開設時間 午前8時30分～午後5時15分
※月～金曜日の平日のみ利用できます。

●主な相談内容

- ・営農再開のための支援事業の紹介
- ・事業申請などの事務手続きのサポート
- ・営農を継続するための技術支援
- ・農地、農道の復旧対策
- ・その他、再建に必要なこと

【相談窓口・問い合わせ】

南予地方局八幡浜支局地域農業育成室
☎ 0894(23)0163

農林業者の金融支援を紹介

農林業者が被災した場合に利用できる制度資金や、償還条件の緩和制度の紹介などを行う相談窓口を設置しています。

●時間 午前8時30分～午後5時15分

●主な制度資金

《農林漁業セーフティネット資金》

▷貸付限度額 600万円または年間経営費などの12分の3

《農林漁業施設資金(災害復旧)》

▷貸付限度額 負担額の80%または1施設あたり300万円のいずれか低い額

※詳しくは、お問い合わせください。

【相談窓口・問い合わせ】

愛媛県農業経済課
☎ 089(912)2528

募集

楽しくて人気の「栄養学級」
要望に応じて夜の部を開催

バランスのよい食事についての
講話と、調理実習をします。

●日時 9月19日(水)

午後6時30分～9時

●場所 内子保健センター

●対象 50～69歳

●定員 15人

●参加費 無料

●持参物 米0.5合、エプロン、
三角巾

●申込期限 9月14日(金)

【申込・問い合わせ】

地域医療・健康増進センター
(保健センター)

☎0893(44)6155

手話で気持ちを伝えよう
「やさしい手話教室」

手話は人と人との大切なコ
ミュニケーション手段のひとつ
です。手話を習って、人とのつ
ながりを広げてみませんか。

■共通事項

●期間 9月下旬～12月下旬

●場所 うちこ福祉館

●講師 手話サークル「内の子」
●受講料 無料

※午前の部は資料代が必要。

●申込方法 うちこ福祉館にあ
る申込用紙に必要事項を記入
して提出

1 午前の部

●開催日 毎週月曜日(全10回)

●時間 午前10時～正午

●定員 8人

2 午後の部

●開催日 毎週金曜日(全12回)

●時間 午後7時30分～9時

●定員 20人

※開催日など、詳しくはお問い
合わせください。

【申込・問い合わせ】

うちこ福祉館

☎0893(44)3410



手話サークル内の子の皆さん「一緒に手話をしよう」

「脱メタボ教室」で
おなかまわりスッキリ

●日時 10月4日～12月20日

「健康づくり大学校」
公開講座のご案内

愛媛県老人クラブ連合会が
主催する「愛媛県老連健康づく
り大学校」の講座の受講者を募
集します。参加は無料ですが、
事前の申し込みが必要です。

《講座1》

●日時 9月12日(水)

午前10時～正午

●演題 「日本の和らい」

●講師 茂山千三郎さん(大蔵
流狂言師)

《講座2》

●日時 10月4日(木)

午後1時～3時

●演題 「健康寿命を延ばすた
めにすべきこと」

●講師 宮岡弘明さん(松山済
生会病院長)

《講座3》

●日時 11月7日(水)

午後1時～3時

●演題 「歌って笑って楽しい
時間」

●講師 三崎めぐみさん(音楽
療法士)

※どの講座も場所は共生館で
行います。

【申込・問い合わせ】

保健福祉課 高齢者福祉係

☎0893(44)6154

(毎週木曜日/全13回)

午前9時30分～11時

●場所 六日市自治会館

●対象 40～74歳で、メタボま
たはメタボ予備軍の人。毎回
参加できる人

●定員 25人

●内容 健康運動指導士による

運動指導(12回)とメタボ予防

調理実習(1回)

●参加費 無料

●申込期限 9月27日(木)

【申込・問い合わせ】

地域医療・健康増進センター
(保健センター)

☎0893(44)6155

内子座で舞台技術を学ぶ
「音響・照明・話し方講座」

内子座の機材を使って、専門
的な知識と技術を学びます。

●日時 10月23日～11月20日

(毎週火曜日/全5回)

●対象/時間

▽小学5年生～中学生/午後

4時～5時30分

▽高校生/社会人/午後7時

～8時30分

●場所 内子座

●コース 音響/照明/話し方

●定員 各コース20人

「気軽にコミュニティ・カ
レッジin内子」のお誘い

●日時 9月27日(木)

午後7時～

●場所 内子自治センター

●テーマ 「産業遺産の魅力の

発掘とシビックプライド」

●講師 山口由等さん(愛媛大
学社会共創学部 産業マネジ

メント学科教授)

●内容 鉄道遺産を中心に地域

の産業観光の展開を議論する

●対象 高校生以上

※町内外を問わず、どなたでも

受講できます。

●受講料 500円

●主催 愛媛大学社会共創学

部、内子町教育委員会他

【問い合わせ】

内子町教育委員会

自治・学習課(内子分庁内)

☎0893(44)2114

愛媛の農林水産技術を見
学「農林水産参観デー」

●日時 10月1日(月)午前8

時30分～午後4時/10月2日

(火)午前8時30分～午後3時

●場所 農林水産研究所・果樹

研究センター(松山市)

●受講料

▽小学5年生～高校生 無料

▽社会人 1コース 2000円

●協力 南海放送音響照明(株)

●申込期限 10月16日(火)

【問い合わせ】

町並・地域振興課(内子分庁内)

☎089(44)2118



内子座の機材を操作

催し

うちこ福祉館の行事案内

《わいわい喫茶》

誰でも気軽に参加できる交流
の場です。ぜひご来館ください。

●日時 10月1日(月)

午後1時～4時30分

●場所 うちこ福祉館

●参加費 無料

【申込・問い合わせ】

うちこ福祉館

☎0893(44)3410

●内容 研究成果の発表、施設
や園場の見学、農業機械の展
示など

●入場料 無料

【問い合わせ】

農林水産研究所

☎089(993)2020

お知らせ

「平成30年7月豪雨災害」
義援金を受け付けます

愛媛県は「平成30年7月豪雨」
の被災者を支援するための専用
口座を設置しました。詳しくは
ホームページをご覧ください。

●口座名 愛媛県豪雨災害義援金

▽伊予銀行 愛媛県庁支店 普

通預金 1769828

▽愛媛銀行 県庁支店 普通預

金 5369532

▽愛媛県信用農業協同組合連合

会 愛媛県庁支店 普通預金

0003012

▽ゆうちょ銀行 001200

3ー634962

http://www.pref.ehime.jp/

【問い合わせ】

出納局会計課

☎089(912)2770



平成31年度内子町社会福祉協議会

職員採用試験

10/21
(SUN)

■試験区分、採用予定人数など

区分	保育士	福祉活動専門員	一般職員	介護支援専門員
採用予定人数	4人程度	1人	1人	1人
受験資格	保育士登録がある人、または31年3月31日までに登録見込みの人	社会福祉士登録がある人、または31年3月31日までに登録見込みの人	大学・短大・専門学校卒業、または31年3月卒業見込みの人	介護支援専門員登録がある人、または31年3月31日までに登録見込みの人
必要書類	保育士登録証(写)または、登録見込み証明書	社会福祉士登録証(写)、または卒業見込み証明書・社会福祉士指定科目履修見込み証明書	卒業(見込み)証明書	介護支援専門員登録証(写)
1次試験	一般教養試験・適性検査・専門試験	一般教養試験・適性検査・作文	一般教養試験・適性検査・作文	作文・面接
2次試験	実技試験・作文・面接	集団討論・面接	集団討論・面接	—
基本給与	15万4,000円	16万2,700円	15万2,900円	14万7,100円
備考	昇給(年1回)・賞与(年2回)・各種手当あり、社会保険など加入			

【共通事項】

■一次試験

- ・期日 10月21日(日)
- ・場所 内子分庁

※詳しくは申込者に通知します。10月12日(金)までに通知が届かない場合は、ご連絡ください。
※一次試験合格者は、指定する期日までに健康診断書の提出が必要です。二次試験は、11月25日(日)に実施する予定です。

■採用予定日

31年4月1日(試用期間6ヵ月)

■応募書類

志願票、履歴書、職種別必要書類(各1通)

※志願票と履歴書は内子町社会福祉協議会、同小田支所(小田保健センター内)、内子町在宅介護支援センター社協(町民会館内)にあります。ホームページからダウンロード可。

※郵便請求の場合は、封筒の表面に「受験申込用紙請求」と朱書きし、「職員採用試験申込用紙等請

求」と書いた用紙に住所・氏名・連絡先(電話番号)を記し、返信用切手120円を同封して送付してください。

■応募受付期間

9月3日(月)～10月5日(金)

※受付は、平日の午前8時30分～午後5時15分です。
※郵送の場合は、封筒表面に「受験申込書在中」と朱書きしてください。(10月5日消印有効)

※詳しくは、募集要項をご確認ください。要項は内子町社会福祉協議会またはホームページでご覧になれます。

【応募先・問い合わせ】

内子町社会福祉協議会
(内子分庁内)

〒791-3392

内子町内子1515番地

☎0893(44)3820

☞www.shakyo.or.jp/hp/1486/



お知らせ

「全国一斉! 法務局休日相談所」の開設について

相続に関する登記、人権問題など、法務局で取り扱う事務全般に関することや、土地の境界に関する相談などを無料で受け付けます。相談は無料で秘密は厳守します。

●日時 10月7日(日)

午前10時～午後3時

●場所 松山地方法務局

●相談担当者 法務局職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員

●予約受付 9月10日(月)～

10月5日(金) 午前9時～午後5時

※当日は混み合うことが予想されますので、事前予約をお勧めします。

【予約・問い合わせ】

松山地方法務局総務課

☎089(932)0888

9月9日は「救急の日」

「救急の日」は救急業務や救

急医療について、理解を深めるために定められました。この機会に救急医療のあり方について考えましょう。

●救急車の適正利用

救急車利用者の半数以上は救急車の必要のない軽症者です。「救急車で行く」とすぐに診察してもらえない「便利だから」といった理由で救急車を利用しないでください。本当に救急車が必要な人から救急要請があっても、すぐに出勤できない恐れがあります。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、他の交通機関を利用してください。

【問い合わせ】

内子消防署本署

☎0893(43)0119

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

10月1日(日)2種類同時発売!

発売期間 10/1(月)～10/23(火)

公益財団法人愛媛県市町振興協会

一日まるごとドイツ気分!

ドイツフェスタ 2018

ドイツのビールや料理、音楽を楽しみながら、ドイツ文化に触れてみませんか。当日はドイツ楽団も出演予定です。ドイツ気分を味わいに、ぜひお越しください。

●日時 10月6日(土) 正午～午後5時

※雨天決行(荒天の場合は中止)

●場所 内の子広場(内子自治センター・図書館情報館駐車場)、内子自治センター

●内容 ドイツビールや料理の販売、ドイツ音楽の生演奏など

●チケット制 前売り券2,400円(500円券5枚で1セット)、当日券2,500円

●チケット販売 内子町ビジターセンター、内

子分庁(町並・地域振興課)、小田支所、フジ内子店

【問い合わせ】

内子町ビジターセンター

☎0893(44)3790



ドイツ楽団の演奏

●たかさご

谷本 明仁

竹内 淳子

小野 稜典

徳廣 美佑

●うぶごえ —♣男の子♥女の子—

♣三好 優斗 (弘将 麻奈美)

♥岡本 華歩 (隆宏 美菜)

♥小林 瑞季 (雅章 絵美)

♣上神 咲空 (聡 正子)

♣久保 雄大 (省二 郁美)

♣岡上 紘土 (雄一 美香)

♥笹岡 美麗 (慎平 真美)

♣河本 颯李 (康汰 依麻里)

内子19第1

内子19第2

護国

松尾

平野

西沖

柿原

平成

●おくやみ

瀬戸口チヨ子 (94)

小野植元幸 (84)

尾形 幸子 (76)

黒田サト子 (87)

稲田 文子 (86)

宮田ミツ子 (91)

福山 善徳 (66)

山本 茂愼 (92)

門田 京子 (68)

陰山 貞幸 (85)

内子20

松尾

田中

護国

和田

鵜川

上町

上町

上村

本町

●まごころ銀行

皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

内子町社会福祉協議会

東 和栄様 (内子8)

高橋八重子様 (内子16)

田中 京子様 (下立山)

森井 孝光様 (大久喜)

西岡 勝博様 (東沖)

久保 茂様 (川上)

河野 英子様 (上川上)

向井 清様 (立石)

横田 和志様 (小田下)

兵頭 幸子様 (大洲市)

10月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：11 (木)・25 (木) の午前10時～午後3時30分

場所：内子自治センター ※出張相談は予約制です。

予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089 (925) 5110

●行政相談

日時：9 (火) の午前9時30分～正午

場所：町民会館／内子分庁／林業センター

問い合わせ：総務課 ☎0893 (44) 6150

●心配ごと相談

日時：9 (火) の午前9時30分～正午

場所：内子分庁

※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。

問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893 (44) 3820

●人権相談

日時：9 (火) の午前9時30分～正午

場所：林業センター

問い合わせ：住民課 ☎0893 (44) 6152

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
7 (日)	大洲ななほクリニック	0893 (25) 7710
8 (月)	山下小児科 (西予市)	0894 (62) 6801
14 (日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894 (24) 1199
21 (日)	ごとう小児科 (大洲市)	0893 (23) 0510
28 (日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894 (24) 1199

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893 (23) 1156

診療科目	診療時間
内科	○平日・土曜日：午後8時～11時 ○日曜日・祝日：午前9時～午後6時

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人を受診できます。

●救急病院

日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893 (24) 2151
水	加戸病院	0893 (44) 5500
木	日中：大洲記念病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893 (25) 2022 0894 (22) 3211
金・土・日	大洲中央病院	0893 (24) 4551

9月は「がん制圧月間」
がん検診を受けよう

がんは日本人の死因の第1位の病気です。日本人の約2人に1人はがんにかかり、約3人に1人はがんで亡くなっています。定期的ながん検診を受け、早期発見・早期治療で自分の身体を守りましょう。

今回は18年前に町のがん検診で、肺がんが見つかった中嶋富士子さんに話を聞きました。

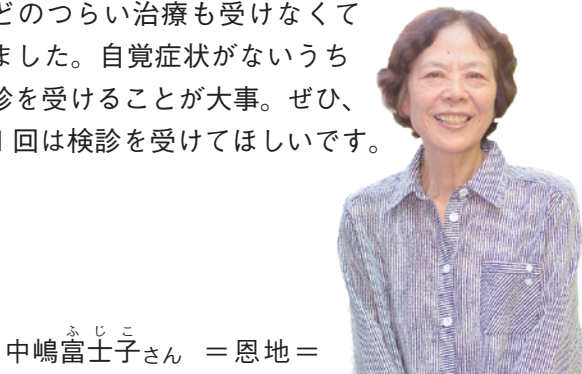
がん体験談 ――がん検診を受けて――

18年前、町に初めてCTが導入されたと聞き、何気ながん検診を受けた結果、肺がんが見つかりました。今まで空気の良いところに住み、自覚症状もなく、たばこも一度も吸ったことがなかったので、思ってもいなかった検診結果でした。

結果にはショックを受けましたが、幸い早期のがんだったので、弱気にならず病気を受け入れ治療に専念することができました。左肺の3分の1

の切除とリンパ節を除く手術を受けました。その後は経過観察を行い、手術7年後には再発もないと医師から言われ、今は元気に家庭菜園を楽しんでいます。日常のありふれた平凡な暮らしのありがたさをしみじみ感じています。

なかなか検診を受けようという気持ちにはならないかもしれませんが、私は早期に肺がんが見つかったことで完治できました。放射線治療や抗がん剤などのつらい治療も受けなくて済みました。自覚症状がないうちに検診を受けることが大事。ぜひ、年に1回は検診を受けてほしいです。



10月の健康カレンダー

●母子保健

3歳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
5 (金)	午後1時～1時15分	内子保健センター	27年8月・9月生まれ

1歳6カ月児健康診査

日	受付時間	場所	対象
9 (火)	午後1時～1時15分	内子保健センター	29年2月・3月生まれ

1歳Comeかむ教室 (虫歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
18 (木)	午前9時30分～10時	内子保健センター	29年8月・9月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
19 (金)	午前9時15分～9時30分	内子保健センター	30年5月生まれ

育児相談

日	受付時間	場所	対象
1 (月)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
2 (火)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
3 (水)		内子保健センター	

●成人保健

個別栄養相談 (管理栄養士が個別に相談を受けます)

日	受付時間	場所	対象
29 (月)	午前9時～正午	小田保健センター	食生活が気になる人

◎事前に電話予約が必要です。

【問い合わせ】

地域医療・健康増進センター (保健センター)

☎0893 (44) 6155

住人十色

第 111 回

負けても最後は笑顔——
充実感いっぱい为全国大会

大西 朱星^{あかり}さん(松山北高2年) 内子8



◎週2～3回の練習に通う「MESSA・SPORTS CLUB」(大洲市)のプールで取材に応じてくれた大西さん。

松山北高等学校水泳部に所属する大西朱星さんが8月17日(20日、愛知県で開催された「第86回日本高等学校選手権水泳競技大会」)に出場しました。種目はフリーリレー400^{メートル}女子。決勝進出はかないませんでした。自分の泳ぎができたこと胸を張ります。

「緊張するといふ泳ぎができないので、みんなでレースを楽しんだ」という大西さん。「気持ちを楽しんで、全国大会のピリピリした緊張感をじっくり味わえた。負けたけれど、また頑張ろうという気持ちになった」と笑顔で話します。大西さんが通うスイミングクラブの石風呂^{いしろう}聖コーチは、「朱星さんの持ち味はスピード。その持久力を鍛えたら、個人種目でも全国大会に行ける。あいさつももしっかりできて、子どもたちのお手本。これからも頑張つて」とエールを送ります。

大西さんにとって水泳は自分に自信を持たせてくれたもの——。「5歳から続けて、体力も集中力も鍛えられた。それは水泳以外にも生きている」と語ります。「来年は受験なので、勉強と水泳の両立が大切。どっちも楽しいので苦にはならないけれど、時間を無駄にできない。鍛えた集中力で乗り切つて、また全国大会の舞台に立ちたい」と力を込めました。

編集 幸記

▽これも狂言の取材で京都へ行きました。歴史ある舞台に茂山千三郎さんの自宅兼稽古場——。同行した私まで貴重な経験をさせてもらいました。2020年に東京で「かみ遊び」を披露することになったら、また密着取材したいものです(航)
▽いろいろな課題もある農業ですが、取材先の皆さんは、生き生きとした表情で素敵な人ばかりでした。忙しい時期に取材させてもらった上、作った農産物までいただき、ありがとうございました。おいしかったです(裕)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

